

## 2017年度 CO<sub>2</sub>排出実績（確報値）について

2019年1月31日  
電気事業低炭素社会協議会

電気事業低炭素社会協議会（以下、協議会）は、このたび、2017年度の会員事業者のCO<sub>2</sub>排出実績（確報値）をとりまとめました。

その結果、協議会全体における2017年度CO<sub>2</sub>排出量は4.11億t-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>排出係数は0.496kg-CO<sub>2</sub>/kWh（いずれも調整後の値）となりました。

協議会では、引き続きPDCAサイクルを展開することで、目標達成に向けた取り組みの実効性を高めてまいります。

【ご参考：速報値（いずれも調整後の値）】（2018年9月10日お知らせ済）

CO<sub>2</sub>排出量：4.11億t-CO<sub>2</sub>  
CO<sub>2</sub>排出係数：0.496kg-CO<sub>2</sub>/kWh

【2016年度実績（いずれも調整後の値）】

CO<sub>2</sub>排出量：4.30億t-CO<sub>2</sub>  
CO<sub>2</sub>排出係数：0.516kg-CO<sub>2</sub>/kWh

【ご参考：電気事業低炭素社会協議会 会員事業者（1/31時点）】

会 員	イーレックス(株)、出光グリーンパワー(株)、伊藤忠エネクス(株)、エネサーブ(株)、(株)エネット、(株)エネギア・ソリューション・アド・サービス、(株)F・Power、大阪ガス(株)、沖縄電力(株)、オリックス(株)、関西電力(株)、(株)関電エネルギーソリューション、九州電力(株)、(株)ケイ・オブティコム、(株)Kenes エネルギーサービス、サミットエナジー(株)、JXTG エネルギー(株)、四国電力(株)、シナネン(株)、昭和シェル石油(株)、新日鉄住金エンジニアリング(株)、ダイヤモンドパワー(株)、中国電力(株)、中部電力(株)、テス・エンジニアリング(株)、テプコカスタマーサービス(株)、電源開発(株)、東京ガス(株)、東京電力エナジーパートナー(株)、東京電力パワーグリッド(株)、東京電力フュエル&パワー(株)、東京電力ホールディングス(株)、東北電力(株)、日本原子力発電(株)、日本テクノ(株)、プレミアムグリーンパワー(株)、北陸電力(株)、北海道電力(株)、丸紅(株)、丸紅新電力(株)、三井物産(株)、ミツウロコグリーンエネルギー(株)、(株)Loop
	以上 43 社

以 上